

大津赤十字病院を受診された患者さんへ

本研究は、当院の倫理委員会で承認され、大津赤十字病院の施設長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	成熟T細胞リンパ腫における次世代シーケンサーを用いたT細胞受容体クロノタイプの解析、ラドバウド大学医療センター病理部（ナイメーヘン、オランダ）との共同研究プロジェクト（No. 998）
当院の研究責任者 (所属)	白瀬 智之（病理診断科）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	日本赤十字社和歌山医療センター病理診断科部副部長 中山 理祐子 京都大学医学部附属病院病理診断科教授 羽賀 博典 高槻赤十字病院病理診断科医師 渡邊 千尋 大阪赤十字病院病理診断科部長 桜井 孝規 関西電力病院病理診断科医長 岩元 竜太
本研究の目的	<p>我々病理医はT細胞リンパ腫（TCL）の診断において組織学および免疫組織化学的に腫瘍性か否かを判断することが難しい病態があることを認識しています。最近の次世代シーケンス（NGS）技術を利用して、一連の多様なTCLにおけるクローン性のT細胞受容体（TCR）レパートリーおよび特定のTCRのクロノタイプを網羅的に解析・同定します。近い将来、形態学および免疫組織化学的解析と組み合わせて、TCLをより正確に診断するためのツールとして、この先端技術を日本に導入したいと考えています。また、TCLサブタイプ間でのTCRクロノタイプの比較により鑑別診断のための新たなバイオマーカーとして有用かどうかについて、これまでの解析方法では得られなかった新たな情報を発見し、診断に貢献することを目的としています。</p> <p>近年、国際共同研究が重要視されています。本共同研究は、日本ではオランダと比較してT細胞リンパ腫の症例が多く、オランダの解析可能な研究施設との共同研究により、これまでにない重要な解析結果が期待できるとして提案されました。本研究課題は日本学術振興会から助成金（基盤研究C）：JSPS KAKENHI Grant Number JP25K11681の交付を受けています（2025年4月-2030年3月）</p>
調査データ 該当期間	2000-2026年現在
研究の方法 (使用する試料等)	<ul style="list-style-type: none">●対象となる患者さん 上記の期間に当院で病理組織生検を行い、再発性あるいは治療抵抗性T細胞リンパ腫と診断された方●利用する情報 標本番号、組織ブロック標本、年歴、性別、臨床診断、治療内容、病理診断の情報を利用
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	<p>多施設共同研究です。この研究では上記組織ブロック標本（ホルマリン固定パラフィン包埋検体）から日本でDNAを抽出し、ラドバウド大学医療センターに郵送し、次世代シーケンサー（NGS）を用いたT細胞クローナリティの解析を行います。組織ブロック標本はDNA抽出後、上記の各機関に返却されます。特定の個人を照合するための情報は日本の各共同研究機関のみが保管・管理します。</p> <p>検体は病理診断のために採取された既存の資料・診療情報のみを使用するので、本研究のために新たにご負担をいただいて収集することはありません。</p>

個人情報の取り扱い	利用情報から氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会などで発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	電話：077-522-4131 担当者： 大津赤十字病院 病理診断科 白瀬 智之
備考	なし